



購読料は組合費の中に含まれています。

定価 五十円

発行所

東京土建一般労働組合
中野支部

東京都中野区松が丘1-8-4
電話 (3388) 5441(代表)
教育宣伝部・代表 鈴木 利之

2025春の
拡大月間

価格転嫁と賃上げ実現を



▲門脇組織部長

【組織部長・床・門脇文宏】こ

とし1月の確定人員は4,445人、4月当初人員は4,365人となりました。先月まで取り組んだ春一番拡大は、目標118人のところ成果99人、上鷲宮分会が超過達成するなど健闘したものの、組織減に歯止めをかけられませんでした。

4月6日、けんせつプラザ東京（東京土建本部会館）で春の拡大活動者会議を開催。5月末までに184人の組合員を新たに迎えようという取り組みについて、具体的な方針を提案、承認しました。

政府は3月を価格交渉促進月間としましたが、2割以上が「価格転嫁できない」「交渉すらできない」と



▲目標達成の決意を新たに

回答。慢性的な人手不足も相まって、昨年の建設業の倒産は1,890件、過去10年で最悪となりました。

◎仲間の仕事と暮らしを守る

そんな中で迎えた春の拡大月間。価格転嫁や賃上げを強く求め、仲間



▲若宮・木村さん

の仕事と暮らしを守るための大切な取り組みです。1人でも多くの仲間と対話を深め、困りごとを解決しましょう。行動日は分会センターに集まり、電話や訪問、ポスティングなど「できること」でご協力ください。



▲弥生・目黒さん

春の拡大月間 統一行動日

第3次行動 4月23日※(水)、24日(木)

日曜行動・中間決起集会 5月11日(日)

第4次行動 5月14日(水)、15日(木)

第5次行動 5月21日※(水)、22日(木)

第6次行動 5月28日(水)、29日(木)

拡大打ち上げ 5月30日(金)

※拡大推進委員会

街路樹



東京土建中野支部主催の人材育成支援事業に参加した際「なぜ働くのか」というテーマに取り組む機会がありました。私は表具の職人として、障子張り体験を子どもたちに提供しました。この授業の最後には質問の時間が設けられ、児童たちが講師に対してさまざまな質問を投げかけ、その中で「働くことの目的」を尋ねる場面がありました▼参加者から「家族のため」「お金のため」「生活のため」といった意見が挙がりました。私が答えたのは「承認欲求を満たすため」。この言葉は児童たちの心にも残ったようで、3月号の指金でも取り上げられています

▼さらに次のように説明しました。「誰でも人から認めてもらいたいと思っています。私も同じです。私が認めてもらえたと感じるのは、私の持っている技能が人の役に立ち、喜ばれた時です。そして、その喜びの上にお金をいただけることが、また嬉しいのです。だから私は人からの承認を求めて働いているのです」と▼建設従事者である私たちは、それぞれが特殊な技能を持ち、それを提供することで収入を得ています。誰もが他者の役に立ち、間接的に必要とされている貴重な存在です。これからは誇りを持ち続けながら、児童たちに働くことの意味を伝えていきたいと思います。松上分会・鈴木康雄